

2025. 1. 15

第78号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1

あと会広報事業部

TEL (082) 856-0222

<https://www.kunikusa.or.jp/>

題字 升味 美佐子様



新年のご挨拶



医療法人社団・
社会福祉法人
あと会グループ

常務理事

横山 輝代子

新年あけましてお
めでとございま
す。本年も何卒よ
しくお願いいたしま
す。

さて、昨年はコロ
ナ感染症が5類に移
行されて1年が経過し、社会環境や市民生活も感染拡大前に近づい
てきた状況でした。

市内では、広島駅周辺の開発工事や基町再開発ビルの着工等、新
の動きが活発化してきた状況です。

また、介護報酬改定が実施され、医療・介護の連携強化、介護職員
の処遇改善、生産性の向上等が主要事項として掲げられ、あと会とし
てもこれらを踏まえて、ご利用者を中心として、職員、医療機関、地
域との連携等を意識した施設運営を進めて参りました。

今年、特養くにくさ苑、老人保健施設は、くにくさの大規模改
修を予定しており、併せて居住環境の改善及びICT導入による見守
り体制の充実等を図っていくこととしております。

地域においては、昨年発足された「いやしの里あと活性化プロジェ
クト」にあと会も構成員として参加させていただいており、この仕組
みを通じて引き続き、皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、
本年も変わらぬお引き立てくださいますようお願い申し上げます。



医療法人社団・
社会福祉法人
あと会グループ

理事長

横山 吉宏

新年あけましてお
めでとございま
す。本年も何卒よ
しくお願いいたしま
す。

さて、昨年の年明
けは、石川・能登半
島で大規模な地震が発生し、多大な被害が広範囲に及びました。そ
の後も各地で、地震や豪雨による災害が発生しており、自然災害へ
の備えが一層大切なことを痛感させられた年でした。

一方、明るい兆しも見え始めており、広島ではコロナ禍で中止さ
れていた広島みなと夢花火大会が5年ぶりに開催されたこと、エデ
イオンピースウィング広島が開業したことにより市街地の活性化が
進んだこと、更には日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことは
2025年に被爆80年目の節目を迎える広島として誠に喜ばしいこ
とだと感じております。

あと会としても、自然災害、感染症対応のためのBCP(業務継
続計画)の検証・定着、福祉・介護サービス利用者に寄り添った施
設運営、これまで休止していた各種行事等の実施に努めて参りたい
と考えております。

今年は「巳年」です。巳年は「成長」「変革」の年といわれてお
ります。これまでの経験・蓄積を踏まえ、新たな取り組みにもチャ
レンジしながら職員一同、ご利用者のために精進する所存ですので、
今後とも変わらぬご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。



でじま・くにくさ

嘱託医

中尾 涼子

新年、あけましておめでとございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。
様々な感染症が流行しておりますが、引き続き
施設の職員とともに感染対策をしつつ、入所者の
皆様の健康管理、疾病の診療を行ってまいります。

なかお内科消化器
呼吸器クリニック

院長

中尾 円

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中はたくさんの方の患者様にご来院いただき、誠に
ありがとうございました。
今年も地域の皆様の期待に応えられるよう、より一
層努力してまいります。
引き続き御指導のほど、何卒よろしくお願い申し上
げます。
寒い日が続きますが、体調を崩されないようお気を
付けください。
今年も皆様にとって楽しい一年になりますように。



あと・クリニック

院長

徳島 雄二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
私たちは今、内外を問わず、驚天動地の出来事で溢
れ返る中に在り、それは、恰も母なる地球が巨大な虫
袋のように不規則に蠢いているかのように思われるの
です。知慮深く、粘り強く、物事を安定させると云わ
れる巳年を迎えて、静かな大地に立ち返らんことをと
祈る気持ちになります。
地域医療も、可もなく不可もなく、凡とした日々が
続くよう、皆様と共に一人三脚で歩んでまいりたいと
思います。
佳き年になることを祈ります。



りは・くにくさ

施設長

築家 大介

新年あけましておめでとございます。
2024年は「蛇年」、しなやかで力強い蛇のように、
今年も皆様と共に成長し、より良いサービスを提供で
きるよう努めてまいります。
昨年のご支援に感謝し、今年も一層の安心と快適さ
を追求し、入居者様が笑顔で過ごせるよう、スタッフ
一同心を込めてサポートしてまいります。
本年もどうぞ変わらぬご理解とご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。



ふかわ・くにくさ

施設長

真下 一策

明けましておめでとございます。
呼吸器感染症には、まだ気が抜けませんが、その対
策方法は整ってきたように思います。
しかし、老々介護に代表される家庭環境や、物価や
年金などの経済環境など、高齢者を取り巻く状況は、
さらに厳しさを増しています。
世の中に信頼され、高齢者の皆さんの笑顔があふれ
るような施設にしようではありませんか。

年末年始



でじま・くにくさ

もちつき

でじま・くにくさでは、12月27日に餅つき大会を行いました。新しい年を迎えるため、そして年末を締めくくるための大切なイベントでもある餅つき大会、今年は特別養護老人ホーム、介護つき有料老人ホームに加え、シヨートステイ、デイサービスの利用者、居宅介護支援事業所の職員、さらには来年度入社予定の学生の皆さんにも参加いただき、まさにでじま・くにくさ一丸となつての開催となりました。

餅つき中はご利用者と職



員が一緒に力いっぱいお餅をつく姿が見られ、その様子をご覧になられている方々も「よいしょ！よいしょ！」の掛け声や手拍子で餅つき大会をおおいに盛り上げてくださいました。お餅をつかれた後、ご利用者が「昔はみんなが集まつてよう餅をつきよつたんよね。」「長いこと餅つきなんてやつとらんかったけん、久しぶりにできて楽しかったわ。」と楽しそうに話してください、温かい気持ちとなりました。元氣と笑顔あふれるにぎやかな年末となりました。

（でじま・くにくさ）

生活相談員 岡崎 悠希



御節料理

でじま・くにくさでは、1月1日、2日にお節料理を提供させて頂きました。

お雑煮や黒豆、数の子などのメニューはもちろんの事、人気の散らし寿司には蟹の身をのせ、広島ならではの牡蠣料理も取り入れてみました。

有料老人ホームでは、13.5kgの鰯を1尾仕入れ、刺身やあら炊きなどにし存分に楽しんで頂きました。料理は「真心」とも言われますが、正月飾りにも力を入れ、折り紙で鶴・亀・手毬を折り、お節を飾りつけました。

ご利用者の皆様へ挨拶に伺うと、涙を浮かべて喜んで下さり、飾りを大事にお部屋に持って帰られる方もおられ、大変心が温まりました。いつも皆様にはお気持ちを頂いてばかりですが、これからお食事で喜んで頂けるように精進して参ります。

（でじま・くにくさ）

管理栄養士 内海 美香



通所サービス・いきいき日帰り旅行

デイサービスでじま

銀河クルーズ

デイサービスセンターで
じま・くにくさでは、12月
3日に5年ぶりのいきいき
日帰り旅行で銀河クルーズ
ランチに参加してきました。

久しぶりの旅行に、みん
なでワクワクしながら船内
へ。中へ入ると、シャンデ
リアと赤い絨毯、少し懐か
しい雰囲気のレストランの
レストラン。いつもと違
う雰囲気の中、ご利用者に
乾杯の音頭をとって頂き、
それぞれ好きな飲み物で乾
杯をしました。瀬戸内海の
島々を眺めながらの食事
で、宮島の鳥居が見えると、



船内デッキに出て記念撮影
もしました。お酒を飲んで
顔が赤く染まっておられる
方や、普段はあまり食べら
れない方がパンのおかわり
をされておられました。普
段なかなか見ることのない
一面を見ることができ、ス
タッフ一同とても幸せな気
持ちになりました。

帰りの道中、「今日はす
ごく楽しかったね。次はど
こに行けるかな。」とすで
に次の日帰り旅行を楽しみ
にしておられる皆様の笑顔
は、とても輝いていました。

また素敵な思い出の1
ページを皆様と作れますよ
うに。

「デイサービスセンターでじま・くにくさ」

介護職 小藤 佳奈



デイケアリは

すし遊館あさひ

りは・くにくさデイケア
では、12月4日と11日に
「『馳走ドライブ』と題し
て東広島市にある『すし遊
館 あさひ』と『道の駅の
ん太の酒蔵』へ行ってい
ました。

今回は、少人数で落ち
着いて楽しめる様にと1日
5名様限定での開催でした
が、たくさんのご利用者様
からご応募いただきまし
た。そこで抽選で選ばれた
幸運の10名様をご案内しま
した。

10時過ぎに出発し、道
中山々の紅葉を楽しみな
がらおしゃべりに花を咲か
せていると「あさひ」に到
着。店内の特別なブースで



カウンター越しに職人さん
が握る活きの良いネタのお
寿司や小鉢に舌鼓を打ちま
した。その後は、道の駅
のん太の酒蔵まで足を延ば
し、お土産を購入したり
コーヒを飲みながらの談
笑を楽しみました。

今回の行事で、外出の
楽しさや喜びを感じる事で
自身の目標ができ、今後も
リハビリを頑張るきっかけ
になっていただければ幸い
です。

今後も定期的にこのよ
うな行事の企画を考えてい
ますのでどうぞお楽しみに
！

「デイケアリは・くにくさ」

介護職 荒木 康孝



デイサービスくにくさ

広島空港・三景園

デイサービスセンターく
にくさでは11月20日に三景
園・広島空港にいきいき旅
行に出かけてきました。5
年ぶりという事でご利用者
の殆どは初めての参加で
した。ご利用者・ご家族合
わせて11名の方が参加して
下さいました。

当日は天候も良く、きれ
いに色付いた紅葉に大きな
歓声があがりました。昼食
は潮見亭をお借りし紅葉を
見ながら美味しい松花堂弁
当をいただきました。空港
では飛び立つ飛行機にまた
歓声が上がりました。一日を
過ごして頂きました。皆様、
ありがとうございます。

「デイサービスセンターくにくさ」

副主任 小形 美保



ケアコンテスト

11月26日に広島市老人福祉施設連盟主催でケアコンテストが5年ぶりに開催されました。あと会からは、食事介助、排泄、入浴の各部門から1名ずつで3名の職員が出場をし、排泄介助部門において、でじま有料老人ホーム所属の大田菜々美さんが優秀賞を受賞することができました。

今年度から会場も大きくなり、一般の方も観覧されるような舞台で、3名とも堂々と普段のケアを実施されており、あと会魂を感じることができました。ケアコンテストを通じて、私たち自身も日頃のケアを見直す良い機会となりました。参加するだけではなく、以降も学びを活かせるよう法人全体でフォローしていきたいと思っています。

（特別養護老人ホーム
でじま・くにくさ）

介護主任 新谷 和哉



介護の知恵袋

ヒートショックは温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することによって失神したり血管の病気などを引き起こします。

暖房器具などを効果的に利用して、寒さ対策を行っていきましょう。



令和6年度

資格取得者
発表

特別養護老人ホーム
くにくさ苑



萩坂 直己
介護支援専門員

老人保健施設
りは・くにくさ



奥 敏樹
介護福祉士



堀 健太郎
介護福祉士

特別養護老人ホーム
でじま・くにくさ



木村 彰宏
介護福祉士



山下 紘寛
介護福祉士



岡崎 悠希
介護支援専門員

編集後記



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

皆様、昨年はどのような年だったでしょうか。一月に起きた石川能登の震度7の地震は衝撃を受けたかと思われます。また、大谷翔平選手の米大リーグ史上初「50本塁打50盗塁」の達成や20年ぶりの新紙幣発行などさまざまな出来事がありました。昨年の年末には、当会恒例イベントの餅つき会が各施設で行われました。当日は寒い中でしたが、普段とは違った表情や素敵な笑顔が見られ、年末の行事を楽しまれておられました。今号はこの他にも、日帰り旅行や銀河クルーズなど施設外の行事も内容濃く掲載させて頂きました。本年も引き続き感染対策には十分に配慮し、皆様に楽しいひと時を過ごして頂けるよう、企画、準備していきたく思っております。

皆様にとって幸せ多き、巴のりある一年になりますよう職員一同心よりお祈り申し上げます。

（くにくさ苑）

生活相談員 武田正登